



## Contents

- ② 3月議会定例会
- ③ 岩倉光弘 新町長に聞く
- ④-⑩ 一般質問  
(平泉初男、加藤伊平、坪川伸理、平谷弘子、山本優、森昭義、南康夫)
- ⑪ 主な議会活動報告
- ⑫ 表紙説明 編集後記



# 3月定例会

3月3日から17日までの15日間の会期で開催され、平成28年度補正予算や平成29年度当初予算、南越前町定住化促進町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正、南越前町副町長の選任についてなど50議案を上程しました。

6日の本会議では、平成28年度一般会計補正予算など13議案が可決し、最終日の17日には31議案が可決したほか、南越前町副町長に藤原十三夫氏（長沢）の選任について同意しました。また、任期満了に伴い南越前町固定資産評価審査委員会委員に山本厚生氏（河野）、奥村隆雄氏（上平吹）並びに、中澤さよ子氏（南今庄）の選任について同意し、同じく任期満了に伴います人権擁護委員には、大悟光順氏（大桐）並びに前田壽美恵氏（湯尾）の推薦につき意見を求めることについて同意しました。

一般質問は10日に行われ、町政に対し7人が質問を行いました。

## 常任委員会報告

### 総務文教常任委員会

（3月9・14日 開催）

総務文教常任委員会に付託された議案第26号南越前町課設置条例の一部改正についてから議案第33号南越前町印鑑条例の一部改正についてまでの条例に関する8議案及び議案第41号財産の無償譲渡及び無償貸付けについてなど所管ごとに慎重に審査を行い、原案のとおり可決しました。

### 産建厚生常任委員会

（3月13日 開催）

産建厚生常任委員会に付託された議案第34号南越前町今庄老人保健施設使用料及び手数料徴収条例の一部改正についてから議案第38号南越前町定住化促進町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正についてまでの条例に関する5議案及び議案第39号公の施設の指定管理者の指定について及び議案第40号町道路線の認定について並びに議案第42号権利の放棄について及び議案第43号平成28年度上

平吹橋橋梁下部工事変更契約の締結についての4議案など所管ごとに慎重に審査を行い、原案のとおり可決しました。

## 当初予算 特別委員会報告

今定例会では新たに平成29年度当初予算特別委員会を設置。3月7日から14日の期間中の5日間、委員会を開催し平成29年度各会計当初予算12議案を慎重に審査し、原案とおり可決しました。

審査の過程で特に指摘した事項は次のとおりです。

### 指摘事項

①職業性ストレス簡易検査実施にあたり、分析結果とストレスの要因を把握し、「うつ」などのメンタルヘルス不調の未然防止に努められたい。

### 回答

職業性ストレス簡易検査は、今年度から義務付けられており、ストレス値を知ること、メンタル不調の発生を未然に防ぐことができ、さらに各所属長に分析結果を

通知し、職場環境改善等の指導に努める。

②区から集落要望書を提出してもらい「実施します」の回答後、着手工に遅いものがあると思うので、回答後は区長及び関係者と連絡を密にして、迅速丁寧な対応に努められたい。

### 回答

集落要望回答後は、集落と連絡を密にして、実施内容・時期等を調整のうえ事業を進める。





## 「岩倉光弘 新町長に聞く」

議会広報特別委員会

3月議会も無事終え、新町長として名実ともにスタートであり、町民の関心の深い問題についてお聞きしたいと考えています。まず岩倉町長の人柄、信条などをお聞きしたいと思います。

**問** 岩倉町長は、若い時から役場にいらっしやいます

が、特に印象に残る仕事はどのようなことがありましたか。

**答 町長** 私は、昭和49年に当時の南条町に就職し42年が経過しました。

いろいろな仕事の中で一番の思い出は「花はす公園」整備です。

平成3年に竹下総理が「ふるさと創生事業」として各市町に村おこしのため1億円が配布されました。そこで南条町では、花はすを活かした取り組みをしました。

ここ中小屋は「辺地債」を利用して隣に「仙山荘」があり、花はす生産者の方とも相談をしながらハスを中心とし多くの品種を集め



るため京都のフラワー公園の協力で、当初は36品種でスタート、以後中国杭州市の西湖からも取り寄せ、現在は百種以上となりました。

観光土産もハスを活用したものを作り、ゆるキャラの「はす坊」もこの時生まれました。町内外のPRに大いに活躍してもらいました。

はす祭りを中心に年間8万人余りのお客さんと呼ば、町の活性化が進みやり遂げた感が強いです。

もう一つ「ガラス工房」も、苦労もありましたが、多くの人との繋がりを持ってました。現在検討中のサーブエリアの拠点整備にも大いに役立っていると思っています。

**問** 次に、合併して南越前町になつてからの思い出は。

**答 町長** 当初は商工観光課長でしたが、初年度は大雪で今庄365スキー場が雪に埋り、対策に苦労しました。

今回、町長に就任前、副町長も経験しましたが、直接仕事の責任

者としての課長職の時取り組んだことは大きなやりがいを感じました。

**問** 今回、無投票とはなりませんが町長に立候補することとなった背景と経過についてお聞きします。

**答 町長** 役場の仕事に就いた時、いつかはとの思いは有りましたが3町村合併の時点では、3地区の融和を図りまとめていくことは大変だと思われました。4年前、川野町長に指名されて副町長を受けた時に、町民の理解が得られれば、次に自分が務めさせて貰う事は、自分に課せられた使命ではないかと思う様になり、今回、多くの皆さんの支持がいただけただけことは本当に感謝しています。

**問** 今後、仕事上での信条をお聞きます。

**答 町長** 先輩からも言われたことで「何事にも一生懸命」これで必ず結果が付いてくると考えています。

**問** 3月の当初議



会も終わりましたので、新町長としての施政方針、一般質問の議論などと重複を避けながら2、3点お聞きします。人口対策として若者の呼び込みについてお聞きします。

**答 町長** 町内への企業誘致が出来れば良いのですが次善の策として、当町に住み、近隣の市へ働きに行く事も若者定住の対策と考え、住宅対策と道路整備などに力を入れていきます。

**問** 当町は多くを山林が占めています。山に入らなくなりそれぞれの地境が分からなくなるといった問題があります。この点についてはどの様に考えますか。

**答 町長** 山林の地籍調査は、若い人が山に入らなくなっている中で、元気な高齢者がいる間に実施することが必要です。具体的には、地権者の立ち合いで境杭の打ち込み、更にGPSによる位置の特定が必要と考えますので実施を進めたいと考えています。

ありがとうございました。議会も住民の視点を協力したいと考えています。

## 一般質問



平泉初男

### 一、観光誘客に伴う食の物産開発と販売促進について

問 平泉

当町の観光誘客の一環として、今庄の古い街並みにある齋藤三郎家を一般公開して食事、土産販売する管理運営事業者名と、管理案件について伺いたい。

答 町長

齋藤三郎家の保存・活用については、今庄宿プロジェクト事業に位置づけており、今年度から来年度にかけて、当時の風情を極力残す形での改修計画を進めています。このプロジェクトは平成29年度で完了となることから、この協議会を引き継ぐ組織体として、昨年7

月に「一般社団法人 旅の宿今庄 夢乃舎」という法人組織が設立された。来年度以降、齋藤家の管理運営や運営後の維持管理に要する費用について町は一切負担しないことを条件としてこの「夢乃舎」が担っていく。

また、齋藤家の活用については、今庄そば等の食事の提供や土産品の販売する場としており、改修工事が完了する今年秋ごろに営業を開始する予定となっている。

問 平泉

今後、観光事業を強力に推進していくという方針だが、町内に誘客しても、来てすぐ帰るのでは地元利益や宣伝効果もないと思うので、この地ならではのインパクトのある食、土産の開発を料理研究家や、婦人団体、女子学生等に提案してもらい、試食会、販売促進会などを行政の主導で出来ないか伺いたい。

答 町長

本町には、そば、地酒、花はす、梅、海産物など特産品が豊富にあるので、これらを活かした商品開

発の専門家やデザイナー、学生などのアドバイスやアイデアを取り入れ新たな土産品開発を進めている。

平成28年度の取り組みとして、今庄観光協会では、今庄宿の地酒4本セットを開発したほか、今庄宿プロジェクト協議会では、今庄のそばや地酒を使った菓子を開発するなど、3月26日の今庄駅リニューアルオープン時には、約十種類の新商品を販売する予定であり、このような当町ならではの土産品については、来年度以降も引き続き強化していくとともに、開発した土産品については、町内の観光関連施設だけではなく、例え



今庄駅にて販売している土産品

ば福井駅前の「ハピリン」内にある観光物産館や、東京にある県のアンテナショップでの販売も働きかけるなど販売促進にも力を入れていきたい。

### 二、人口減少対策について

問 平泉

人口が減少している中で、定住人口を減らさないようにするには、現在当町に住んでいる人が町外に流出しないように、住みよいまちづくりを進めるべきと考えるが、移住を検討している人たちには、土地購入時や家の新築、リフォーム等、優遇措置があるとは言って



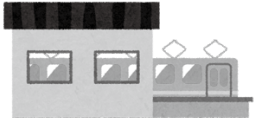
駅舎内にある土産品コーナー入口

も、移住を決めるときは、本町を見てから判断すると思われるが、現状をどのように捉え、どのような考えを持ち、どこに力を入れていくのか伺いたい。

**答 町長**

本町の人口は、平成27年 国勢調査では10,799人ですが、毎年約150人ずつ減少し、県内でも3番目に大きな減少率となっており、この人口減少問題が本町の抱える喫緊の課題となっている。このため、平成27年3月に策定した「第二次南越前町総合計画」を基本に、「町民に優しいまちづくり」「安全安心して暮らせるまちづくり」など「六つのまちづくり」について、しっかり取り組むたい。

特に若者が町外へ出ていかないよう、住宅政策や子育て支援策に力を入れ、人口減少の抑制に全力で取り組みたい。



## 一般質問



加藤伊平

### 一、町の住宅政策について

**問 加藤**

岩倉町長は、当選後「思い切った住宅政策をす」と言っており期待している。そこで町所有の使用していない土地や借地について使用していない土地を、宅地分譲する考えがあるのか伺いたい。

**答 町長**

分譲地の整備は、需要を鑑みながら、生活利便性、整備コスト、土地の形状が区割りしやすいことを考え計画的に整備していく。公共が所有している財産は、平成29年度以降譲渡も含めて処分・活用方法を検討する。借地は、所有者の意向を確認し方向性を見出していく。

**問 加藤**

500平方メートル以上の民間の宅地造成で、要件を満たしたものは、所得税の譲渡益課税の優遇措置を受けられる「優良宅地認定制度」があるが、当町ではどのように取り扱っているのか。

**答 町長**

知事又は町長の認定を受け、税の優遇措置を受けるものだが、これまで申請がなかったため事例はない。今後、申請があれば制度を適用していく。町が土地を取得して造成する場合は、1500万円まで特別控除となる制度を活用していく。

**問 加藤**

町では、宅地の販売方法などに制約があるので、民間の宅地建物取引業者を活用して、宅地造成・販売を行ったらどうか。

**答 町長**

民間事業者の豊富な情報発信ツールを活用していくことは、町内外に分譲情報を知っていただくために、今後検討していかねばならないと思っている。

また、利便性の高い土地に、民間が宅地を造成した場合には、道路や下水道施設の整備などの支援の方法について、今後検討していく。

**問 加藤**

人口増加策は、どこの市町でも行っており、市町間競争であると言える。

そこで、住宅政策だけでなく町民の要望を細かく吸い上げ、大胆に実施することが大切ではないか。

**答 町長**

今後は、これまでの各施策を点検し、多方面に配慮した新たなソフト事業を創設するなど、近隣市町に先駆けた各種施策を推進していきたい。





## 一般質問



坪川 伸理

### 一、本庁舎及び今庄・河野両総合事務所Wi-Fi化及び職員ネットワーク利用規制について

問 坪川

本庁舎及び今庄・河野両総合事務所をWi-Fi化する予定について伺いたい。

答 町長

総務省では防災の観点から、防災拠点Wi-Fi環境について、整備を平成29年度から31年度迄に全国3万箇所整備することを目標としている。本町としても、整備箇所数やランニングコスト等について精査し、総務省の補助事業を活用したWi-Fi環境整備について前向きに検討したい。

問 坪川

総務省の計画では来年度から3

年間となっているので、早期に手を挙げるべきではないのか。

答 町長

平成29年度内には内容の精査を行い、方向性を決めたい。

問 坪川

職員のネットワーク利用に際して規制をかけているのか。

答 観光まちづくり課長

職員が使用する端末をインターネットの脅威から守るため、端末が直接ネット通信を行わなくてもネットを閲覧できる仮想化技術を用いた新たなシステムを導入している。また、業務に必要なないホームページ接続を制限する為のシステム、外部からのウイルスや悪意のあるソフトを除去するシステムも併せて導入している。更に外部記録媒体への書き込みを制限するシステムを導入し、4月から運用を開始する予定である。

問 坪川

職員への情報セキュリティ教育は定期的にするのか。

答 観光まちづくり課長

継続して実施していく必要があ

ると認識している。平成28年度は2回開催したが、今後も定期的に研修会を開催し意識の向上に努める。

### 二、小中学校Wi-Fi化及びタブレット導入について

問 坪川

文科省では小中学校ICT環境整備を自治体に求めているがWi-Fi化及びタブレット導入、遠隔授業といった課題について工程表を作成しているのか。

また、町長に提案しているのか。

答 教育長

導入環境が、まだその段階に至っていないため、具体的な工程表は作成していないし、町長への提案はしていない。第2次総合計画において、教職員用・児童生徒用パソコンの更新計画を提示している。

問 坪川

新年度を控え、確認の意味で質問した。計画を確実に実行してもらいたい。文科省は32年度迄に全国の学校にタブレット導入する目

標を掲げている。工程表を作成しておけば人事異動があっても確実に実行されるのではないかと思うがどうか。

答 教育長

工程表と似た事業計画表を作成しながら進めていく。

問 坪川

今後のICT関連事業計画については。

答 教育委員会事務局長

昨年9月に年度計画をたて31年度末迄にパソコンの更新を実施する。Wi-Fi化及びタブレット導入については、町内光ケーブル整備状況、県補助制度を見据えながら町長に説明を行っていく予定。

問 坪川

国・県・町と連携し最低限世間並の整備をお願いしたい。

答 教育委員会事務局長

新年度に向けて引き続きICT教育の充実を図っていく。他の市町に遅れをとらないよう県・町と連携を取りながら進めていく。

## 一般質問



平谷弘子

### 一、本町職員の綱紀粛正について

#### 問 平谷

本町職員の懲戒処分とその公表については、平成26年9月定例会で前町長より「今後は総合的に判断し厳格に処分する」との答弁だったが、その後、本町独自の基準策定がなされていないと新聞掲載があった。住民の信頼を裏切る行為と他の職員に与える影響は大きいと思うが、町長はどう考えているのか。

#### 答 町長

町職員の規律の確保及び法例遵守については、従来から町長訓示や文書等で職員に対し再三再四注意を喚起している。懲戒処分の「公表基準」の公表について報道でも

「透明性の高い行政はもはや当たり前の時代」と述べていた。

本町としても国の人事院の公表基準をもとに近隣市町の公表基準を参考に早急に策定するよう担当部局に指示を出した。その結果、3月1日付けで公表基準を策定したところである。公表内容について、本町は年代、性別も公表することとし、国の基準よりもさらに厳しい内容となっている。



南越前町役場

### 二、JR今庄駅における椅子式階段昇降機の設置について

#### 問 平谷

高齢者や障害者のための椅子式

階段昇降機を今庄駅に設置してほしいと切に願っているが、設置について町長の考えを伺いたい。

#### 答 町長

国土交通省では一日当たりの平均利用者数が3,000人以上の鉄道駅について、鉄道事業者が主体となりバリアフリーを進めることとしている。今庄駅については一日当たりの平均利用者数が約400人であり、JR西日本が主体となってバリアフリーを実施することは非常に困難な状況である。しかし、当町では第2次南越前町総合計画において、「町民に優しいまちづくり」の基本目標の中で「公共施設のバリアフリー化の推進」を掲げており、今庄駅をはじめ町内各駅舎のバリアフリー化について、今後、利用客の状況や財政負担等を勘案し、地元住民や身体障害者連合会等の意見も聞いて慎重に検討する必要があると考える。特に、今庄駅については、いす式昇降機の設置だけでなく、改札口から直接一番ホームに進入できる通路の設置も考えられ

ることから、より効果的なバリアフリー化の手法についても併せて検討したい。



JR 今庄駅階段

#### 問 平谷

病院に行くために駅を利用する人も多い。今庄駅のバリアフリー化について、調査だけでも早急にできないか。

#### 答 町長

整備費やその財源、整備後のランニングコストなどについて、平成29年度内に調査を進めたいと考えている。

## 一般質問



山本 優

### 一、町民の健康長寿について

**問** 山本

全体的な喫煙率の低下に対し、女性の喫煙率があまり下がっていないのは、家庭や公共の場での喫煙に課題があると思うが現状と対応策を伺いたい。

**答** 町長

喫煙は肺がんをはじめ、多くの疾患の危険因子となる「たばこの害」についての啓発活動や禁煙を希望する方への支援、母子や未成年者に対しては喫煙と受動喫煙の防止に取り組むと共に、公共施設では、休憩や宿泊を目的とした施設を除き、非喫煙者の保護という趣旨から禁煙・分煙の徹底を進めている。

**意見**

町では、公共施設での指導は進んでいると思うが、厚生省では飲食店なども含め全面的禁煙を目指した法整備の準備が進められているので、集落の集会場等においても健康維持を考慮し、啓発を進めていただきたい。

**問** 山本

家庭内で、子どもが受動喫煙による健康被害のことを、子どもから親に発言すれば効果は大きいと思う。そこで、学校教育の中で煙草の害についての周知等指導はどのように行われているのか伺いたい。

**答** 教育長

禁煙防止教育は、文科省の要領により「喫煙と健康」について関わる



こととしており、中学生には「未成年者の喫煙の害、健康への影響」について授業やグループ討議を行い、喫煙防止の標語や警告文の作成などの教育を行っている。

### 二、行政組織のスリム化に向けて

**問** 山本

今後、医療・福祉事業などにより町財政を圧迫することが懸念されるので、行政需要の減少が必要であると思う。その対策の一つとして「民で出来るものは民で」「住民できるものは住民で」という方法もある。そのため今、必要なことは地域リーダーを発掘・育成し、住民の自治意識の醸成を図る必要があると思う。学校教育では自立できる子どもを育てる指導をどのように行っているのか。

**答** 教育長

学校教育では、日々の児童に直接経験させること、具体的には、体育祭の応援団、生徒会での活動、掃除の班長などを任せることでリーダー性の育成に努めている。

近年では「アクティブラーニング」の導入、ブレゼンで自分の学習したことを発表するなど子供たちが自発的、主体的に取り組むよう指導している。

**問** 山本

地域の各世代の指導者育成について伺いたい。毎年、成人式の実行委員が地区ごとに集まっていますが、以後この経験を活かした活動に対する指導についてどうしているのか。

**答** 教育長

地域におけるグループの育成について、例年町づくり大会を開催している。

先の研修では、福井大学の田中先生から講演と地域の課題について参加者によるワークショップを行った。この中でリーダー育成の話題や地域の行事へ若者の参加が少なくなっているなど課題が出される一方、建設的な意見も有り、大変心強く思っている。

**答** 教育委員会事務局長

成人式の実行委員は式典が終わると解散しているのが現状だが、以後も交流を続けていけるよう指導に努めていく。





## 一般質問



森 昭義

一、県に対する要望活動等の進捗状況について

問 森

南条サービスエリアに接続して地域振興施設を整備する事業について伺いたい。

答 町長

昨年6月に国のモデル事業に採択され、南条サービスエリアに入りできるウエルカムゲートの整備が実施可能となった。今後、中日本道路(株)、国土交通省、県などの関係機関とともに、「南条サービスエリア周辺地域振興施設整備事業協議会」を設立し、運営や整備の内容を検討していく。

問 森

いろいろ課題がある中、充実し

た施設にしていたいただきたいが、どのような施設にするのか伺いたい。

答 中村建設整備課長

この施設に訪れたお客様に情報を発信し、町内の観光施設や県内の観光地に周遊、滞在、宿泊につながるような観光の拠点としての位置づけを目指すとともに、雇用の拡大と農林漁業者の所得向上につながる施設にしたい。



南条 SA 上線付近の地域振興施設建設予定地

問 森

歴史文化遺産を活かした観光拠点づくりとまちづくりについて伺いたい。

答 町長

今庄宿の街並み保存と国の重要伝統的建造物群保存地区への選定

に向け、平成29年度から今庄宿の保存対策調査を開始する。県からは、文化庁との調整や調査を実施する専門家の選定などにバックアップをいただいております。調査に係る経費も財政支援をいただく予定になっている。

また、鉄道遺産を活用した観光誘客も進めていきたい。

問 森

国道305号(仮称)鯖波大橋の整備について伺いたい。

答 町長

鯖波跨線橋から直接東側に向かって日野川を渡るよう橋梁を新設するこの事業については、今後国道305号南越前工区改良整備促進期成同盟会活動を通じ、県に強く要望する。

問 森

北陸新幹線敦賀開業後における並行在来線の安定経営による存続について伺いたい。

答 町長

平成29年度から収支予測調査及び経営基本調査が実施され、平成30年度以降に経営と運行に関する

基本方針、経営計画(案)を策定する予定。並行在来線は本県の重要な公共交通機関であり、本町としても住民の生活の利便性が損なわれないよう、今後も県に対し、しっかりと意見を伝えていく。

問 森

県道中小屋武生線の改良工事促進について伺いたい。

答 町長

堂宮地係や阿久和地係で拡幅改良が実施されているが、越前市地係には幅員が狭い未供用区間があるため、早期に道路改良を行う施策が必要。今後も県に対し、要望する。



幅員が狭く老朽化が進む聖橋



南 康夫

一、Uターン・Iターン促進  
および子育て支援について

問 南

人口減少対策に関して、U・Iターン促進、若者の転出を抑制するための住宅対策および子育て支援について、現状と課題、今後の展望をお尋ねしたい。

答 町長

町では、定住に向けたマスタープランを策定し、特に若い世代が町外に移住することを抑制し、定住の促進を進めている。補助事業としては、分譲地や多世帯近居に対する新築補助、リフォーム補助などを実施している。U・Iターン促進事業としては短期滞在事業に取り組んでおり、2年間で100

名以上の町外在住者の方が本町を訪れ、田植えや畑作業を通じ、町民の方々と交流している。加えて新年度より移住促進を専門に担う地域おこし協力隊員を新たに配置する予定であり、都市住民にたいする情報発信を強化する。宅地分譲では若い世代が新築した場合に分譲価格の最大4割を補助する事業を町内6ヶ所の町分譲地で実施していきたい。さらに、町内の空き家所有者に対して実態調査を実施しており、58名の方が空き家情報バンクへの登録について関心があると回答されている。今後、所有者の意向に沿った施策を検討し、空き家を活用した定住化を図りたい。子育て支援については、保育料の低減化、妊婦健康診査の無償化など子育てにかかる費用負担の軽減を図っている。今後、子どもたちが成長する過程において、南越前町でしかできない豊かな自然風土とのつながりや地域文化の伝承等を積極的に実施し、町を愛する心を育んでいきたいと考えている。

二、観光トイレ・公共トイレの  
管理と利用のあり方について

問 南

今後、観光客の誘致を進めるにあたり、清潔で使いやすく安全な公共のトイレを用意することは重要であると考えているが、清掃や衛生面、安全面、トイレのサインについて現状と展望を伺いたい。

答 町長

現在、町が管理する公共トイレは36か所、そのうち観光トイレは28か所あり、清掃については、シルバー人材センターや集落の方が週1回もしくは2週間に1回程度



今庄中の伝統芸能「蛇踊り」

実施している。安全面では、監視カメラを設置している施設はないが、一部施設では非常通報装置を設置している。サインについては、走行中のドライバーから認識できるように。観光客の誘致を進める上で、いつでも安全で清潔、かつ利便性の高いトイレを準備することは重要なことと認識している。今後、特に観光トイレについて、維持管理の現状、サインの表示、洋式トイレの設置等について検証した上で、トイレの利用頻度や町の財政負担なども勘案しながら対応を検討する。



町内の公共トイレ

## 主な議会活動報告

■ 1月22日

東京南越前郷友会総会が東京都内で開催され、生駒議長他全議員が出席した。



東京郷友会に川野町長、生駒議長など参加

■ 1月23日

南越前町中央要望活動で生駒議長他全議員が稲田防衛大臣他県選出国会議員を訪ね、要望書を提出した。



国会陳情、全議員で稲田大臣を訪問

■ 2月3日

2016町民スポーツ祭冬季大会が今庄365スキー場で開催され、生駒議長が出席した。

■ 2月13・14日

丹南地区市町議会議長会による中央要望活動で、秋田副議長が国土交通大臣他県選出国会議員を訪ね、要望書を提出した。

■ 3月14日

町内3中学校の卒業式が挙行され、生駒議長他関係議員が出席した。

■ 3月15日

町内4小学校の卒業式が挙行され、生駒議長他関係議員が出席した。

■ 3月19日

春季警防訓練が宅良体育館及び付近一帯で開催され、秋田副議長他南越消防組合議会議員3名が出席した。

■ 3月26日

今庄駅舎リニューアルオープン式が今庄駅前で開催され、生駒議長他12名が出席した。

■ 4月4日

今庄給食センター調理等業務民間委託開始に伴う試作会と試食会が今庄小学校ランチルームで開催され、生駒議長他7名が出席した。

■ 4月9日

きとつけ今庄『酒蔵ふえす2017』が今庄宿公德園広場で開催され、生駒議長が出席した。

### 2月～4月の主な会合

全員協議会

2月21日、3月3日、6日、17日

議会運営委員会

2月3日、27日、3月3日

当初予算特別委員会

3月7日、8日、9日、13日、



旧今庄駅、機関区のジオラマ

14日

広報特別委員会

2月14日、3月3日、27日、4月7日

### 各組合議会の主な会合

■ 2月9日

平成29年2月福井県丹南広域組合議会第56回定例会が越前市役所で開催され、生駒議長他同組合議会議員2名が出席した。

■ 2月10日

平成29年第1回公立丹南病院組合議会定例会が鯖江市役所で開催され、同組合議会議員3名が出席した。

■ 3月21日

平成29年第1回南越消防組合議会定例会が越前市役所で開催され、生駒議長他同組合議会議員3名が出席した。

■ 3月21日

平成29年第1回南越清掃組合議会定例会が越前市役所で開催され、生駒議長他同組合議会議員2名が出席した。



表紙説明

## 今庄駅リニューアル

### 今庄観光の拠点ここからスタート

好天に恵まれた3月26日、今庄の玄関口、駅舎前広場と今庄サイクリングターミナル前駐車場で、多くの町民の見守る中、今庄駅リニューアルオープン式が行われました。



表紙の写真は、鉄道の歌などで花を添えてくれた「なないろこども園」子どもたちとテープカットの岩倉町長、生駒議長をはじめ来賓の方々です。

今回のオープン式でのイベント

は町内の物産品の販売と今庄機関区の時代の懐かしい展示、思い出の鉄道唱歌の紹介など鉄道に関する展示とイベントで今庄を知っている人にとっては大変懐かしい内容でありました。



んが話していました。

昭和30年代には、今庄駅は先端技術の塊であったと参加者の皆さ

当時、小中の遠足では、機関区を中心とした今庄駅の見学は定番で、自分の背丈ほどもある大きな動輪、真っ黒の鉄の塊のような機関車、子どもでも理解できる蒸気機関車の動くシステムに目を皿のようにして見ていた



との事でした。

当時の見ていた「投炭練習機」が展示されていました。

機関助手は、蓋を明けると炎と熱気がある中で窯に石炭を入れるわけですがその練習のための「投炭練習機」展示には感激でした。

子どもが小さなシヨベルでゴムボールを投げいれていましたが、当時の苦労はきつと理解できないでしょう。

また今回、化粧直しをしたD51の雄姿は「乗り鉄」「撮り鉄」「触り鉄」にとっても楽しみの一つです。

今庄宿場跡をたどることと併せ、まず見に来てください。

## 編集後記

今回の表紙は、桜と考えましたが開花が遅れ、事前に準備した今庄駅舎改修オープン式の子どもの写真を使いました。

この子ども達に安心して暮らせる町を残す努力が議会に求められます。

旧今庄町は、この駅が多くの人で賑わい、北陸トンネル工事が進められた時期には、駅前には、飲食店、パチンコ、洋服店など大変賑やかで、町の人口も二万人近くありました。

その当時は復活することは難しいですが鉄道遺産や宿場をテーマに活性化を図るためいろんな企画も必要ではないか。

今号で、3月議会の紹介をしています。これから岩倉カラーで町の活性化を進められることを期待しています。町行政と議会は車の両輪と言つ言い方が有ります。これからは相互に緊張感を持って町の活性化に向けて協力して議会も頑張りたいと考えています。